

記入日：令和 7年 7月 13日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

山形県 上山市

【設立時期】平成27年4月1日

【設立経緯】観光地域づくり法に基づくDMO登録要件を満たすため、一般社団法人上山市観光物産協会を母体とし、主としてインバウンド誘客・環境整備を目的とした地域DMOとして、稼げる観光地づくりに向け役割分担を明確化する形で設立された。

【代表者】五十嵐 伸一郎((一社)上山市観光物産協会会長/㈱葉山館代表取締役)

【マーケティング責任者(CMO)】出戸端 健人

【財務責任者(CFO)】長橋 圭子

【職員数】15人(常勤14人(正職員7人・パート等7人)、非常勤1人)

【主な収入】

・事業収益:32,400,991円

・補助金:47,691,427円(2024年度決算)

【総支出】

・一般管理費:75,519,979円

・事業費:30,669,110円(2024年度決算)

【連携する主な事業者】

上山市商工会/かみのやま温泉旅館組合/上山地区ハイヤータクシー協議会
/NPO法人かみのやまランドバンク/(公社)上山青年会議所

KPI(実績・目標)

※()内は外国人に関するもの。

項目		2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度	2025 (R7)年度	2026 (R8)年度	2027 (R9)年度
旅行 消費額 (百万円)	目標	8,540 (-)	9,504 (-)	9,880 (-)	10,209 (-)	10,710 (-)	11,235 (-)
	実績	9,978 (-)	9,180 (-)	11,820 (-)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	220 (-)	240 (-)	247 (2.3)	249 (2.5)	256 (3.8)	287 (7.0)
	実績	217.5 (2.4)	236 (2.2)	238.5 (2.4)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	95.0 (-)	95.0 (-)	95.0 (-)	95.0 (-)	95.0 (-)	95.0 (-)
	実績	98.0 (-)	98.0 (-)	99.0 (-)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	80.0 (-)	80.0 (-)	80.0 (-)	80.0 (-)	80.0 (-)	80.0 (-)
	実績	84.5 (-)	81.5 (-)	78.6 (-)	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

①香港・台湾・タイを中心とした東アジア・東南アジア
FIT層②食×中長期滞在(バケーション)層

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

- ・観光コンテンツの発掘と磨き上げ、受入環境整備
- ・観光プログラム等のSNS動画配信や現地旅行博・商談会等のプロモーションの実施
- ・インバウンド誘客を重点とした取組の推進

【観光地域づくりのコンセプト】

ゆかたとワインの似合うまちづくり

・本市の情緒感と既存の地域資源を掛け合わせ、満足度の高い滞在型地域を目指すことで、地域経済の活性化を図る。

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・地元ワイナリー・行政と連携した日本最大級のワインイベント「山形ワインバル」の開催。地域一体のワインによる観光振興と消費拡大の推進
- ・市民の協同によるかみのやま温泉のまちの情緒を活かしたゆかたの似合う町づくり事業の展開
- ・地域住民と連携した滞在コンテンツの開発(檜下宿 雪の提灯回廊)

【受入環境の整備】

- ・蔵王温泉までの路線バス運行の企画
- ・台湾人スタッフによる受入対応
- ・人材育成を通じた海外からの働き手の確保とインバウンド受入体制の整備

【情報発信・プロモーション】

- ・地域資源を活用した旅行商品の造成・企画・販売。多言語の商品販売を実施
- ・市内ワインの認知度向上と消費拡大のためワインショップを展開
- ・公式Webサイトの他、Facebook等の有料広告を活用した国内外へ情報発信
- ・台湾での現地プロモーションを実施
- 【その他】
- ・隣接自治体や他観光協会と連携した広域観光の促進

